

本研究の目的は、GACD の国際協調公募に資する実証型研究の提案をするために、低・中所得国のメンタルヘルスにおいて、取り組むべき課題の抽出、及び低・中所得国に移転・導入の可能性のあるわが国の優れた取組みを明らかにすることである。研究の方法は、研究論文のレビュー、及び現地調査を含めた有識者及び関係者へのグループインタビュー等の手法を通じて実施した。本研究は、低・中所得国における児童思春期のメンタルヘルスに関する研究（宇佐美）、東南アジアの低・中所得国におけるメンタルヘルスの現状と支援に関する研究（佐竹）、及びカンボジアのメンタルヘルスの現状と支援に関する研究（青木）の3つの分担研究から構成されている。

低・中所得国のメンタルヘルスに関する論文レビューについては、PubMed をサーチエンジンとして、2012年1月1日から2016年12月31日の間に掲載されたレビュー論文に絞って検索した。検索ワードは”mental health” and “low and middle income countries” 及び ”mental health” and “developing countries” とした。131個のレビュー論文が検出され、これらの論文からメンタルヘルスにおける課題の抽出を行った。一方、日本におけるメンタルヘルスの取組みについては、医学中央雑誌をサーチエンジンとして検索した。その結果、日本では統合失調症を中心に地域精神保健の取組みが多数実施されているが、低・中所得国では、そのような取組みの報告が少なく、統合失調症を始め、重症精神疾患患者が十分なメンタルヘルスサービスを受けることが出来ていないことが課題として挙げられた。さらには、地域住民の疾病に対する理解不足と偏見が、コミュニティーメンタルヘルス活動の障壁になっていることが課題として挙げられた。また、低中所得国のコミュニティーヘルスワーカーに関するレビュー論文では、テーマとして精神保健が取り上げられている論文は非常に少ないことが明らかにされた。

これらの論文レビューの結果に加えて、グループインタビュー及び現地調査の結果に基づいて、以下の研究提案を提示する。

1. 低・中所得国における児童思春期のメンタルヘルスに関する研究

- ・低・中所得国の子どものメンタルヘルスに関わる職種（医療以外の分野の職種を含む）を対象として、効果的な研修会を開催するためのプログラムの開発研究
- ・低・中所得国のメンタルヘルスに関わる職種（医療以外の分野の職種を含む）を対象に災害精神医学（子どもを含む）に関わる研修プログラムの開発研究

2. 東南アジアの低・中所得国におけるメンタルヘルスの現状と支援に関する研究

フィリピン共和国は台風、地震、火山噴火などの自然災害の非常に多いところであるが、被災地におけるメンタルヘルスに関する報告は見つからなかった。日本では、大規模地震、津波、洪水、火山爆発など過去20年にさまざまな災害支援の経験があり、これらの被災地におけるメンタルヘルスに関する支援経験の中で、フィリピンに導入可能なものとして以下の2つを提案する。

- ・被災地の児童に対するメンタルヘルス支援の導入のための研究
- ・被災地における精神医療保健システムの再構築のための研究

3. カンボジアのメンタルヘルスの現状と支援に関する研究

統合失調症等の重症精神疾患の患者が、メンタルヘルスサービスを受けることができていない現状があり、重要な課題として取り上げられた。日本では、統合失調症等の重症精神疾患を持つ患者の治療のために、医師、看護師、臨床心理士、ソーシャルワーカー等を含む多職種チームで地域生活支援を行うことの有効性が示されており、低中所得国において、その技術を現地の実情に合わせながら移転・導入することの有効性を検証する。また、その有効性を検証するための簡便な精神症状評価尺度を開発する。

- ・多職種チームによる住民に対する心理教育的介入を行い、介入群と非介入群で受診率、統合失調症に関する知識、家族の負荷、再発率、治療継続率を比較する。
- ・多職種チームによるアウトリーチサービスを行い、介入群と非介入群で治療継続率、家族の負荷、再発率、治療継続率を比較する。
- ・カンボジアシェムリアップ州で実践されてきた SUMH (Supporters for Mental Health, 日本の国際精神保健 NGO であり、1997 年からカンボジアの地域精神保健に取り組んでいる) による地域生活支援を活動開始前に実施された基礎調査と、現在を比較し、低・中所得開発国における地域生活支援の有効性を検討する。
- ・PANSS に代わる低中所得国で利用可能な精神疾患の回復のより簡易な指標を見出す。

The purpose of this research is to extract issues to be addressed in mental health care for low- and middle-income countries (LMICs) and to clarify Japan's efforts on the possibility of relocation/introduction to LMICs. Proposals of empirical research contributing to the international collaborative call for proposals on prevention and management of mental disorders for Global Alliance for Chronic Diseases (GACD) were requested. The studies used a review of research papers, group interviews with experts, and field surveys. This study consisted of three sharing studies. We focused on children/adolescent mental health in LMICs (Usami), studied the present conditions and support systems for mental health in the LMICs in Southeast Asia (Satake), and studied those in Cambodia (Aoki). Review articles published between January 1, 2012 and December 31, 2016, using PubMed as a search engine were used. Search words included the following: "mental health" and "low and middle-income countries" or "mental health" and "developing countries." One hundred and thirty one review articles were found, and key problems in mental health were extracted from these papers. On the contrary, for mental health activities in Japan, we searched articles using Igakutyuozasshi as a search engine. Many community mental health activities have been implemented in Japan, but there have been few reports of such efforts in LMICs. In LMICs, patients with severe psychiatric disorders, such as schizophrenia, did not receive sufficient mental health services. Furthermore, a lack of understanding and prejudice of diseases by local residents was a barrier to community mental health activities. In a review paper on community health workers in LMICs, very few papers addressed mental health as a theme.

Based upon the results of these papers, group interviews, and field survey results, we present the following research proposals:

- Development of a program of workshops for workers involved in child mental health services in LMICs
- Development of a training program on disaster psychiatry for workers involved in the mental health setting in LMICs
- Research on mental health support for children in disaster areas in the Philippines
- Research for the reconstruction of the mental health care system in disaster areas in the Philippines
- Psychoeducational intervention studies on the residents by a multidisciplinary team in Cambodia
- Research on the effects of outreach services by a multidisciplinary team on treatment continuation rate, family load, and recurrence rates in Cambodia
- A study on the change of residents' consciousness survey by community mental health activities in Cambodia
- Research to find easier indicators for the recovery of mental illnesses in LMICs instead of the Positive and Negative Syndrome Scale (PANSS)